

平成 25 年度 JCOMM マネジメント賞の受賞について（報告）

この度、八戸市並びに八戸市地域公共交通会議、八戸圏域公共交通計画推進会議の取り組みが平成 25 年度 JCOMM マネジメント賞を受賞いたしましたのでご報告いたします。

JCOMM マネジメント賞とは

日本モビリティ・マネジメント会議実行委員会（別紙 1）が、モビリティ・マネジメントにおける実務的な「一連の持続的マネジメント」の中でも、とりわけ、都市・地域のモビリティの質的改善や環境問題、公衆の健康増進問題や都市構造問題、渋滞などの交通に関連する諸問題の解消に向けて、「効果的に推進」されている一連の持続的マネジメントについて、個人あるいは団体を対象として表彰しているもの。（別紙 2：過去の受賞一覧）

※マネジメント賞のほか、プロジェクト賞、デザイン賞、技術賞がある。

授賞式

1. 名称 : 第 8 回日本モビリティ・マネジメント会議（授賞式）
2. 日時 : 平成 25 年 7 月 12 日（金） 13:00～15:10（オープニングセッション内）
3. 場所 : 仙台市民会館（宮城県仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4-1）
4. 出席者 : 八戸市地域公共交通会議（武山会長）、八戸圏域公共交通推進会議（吉田座長）、
八戸市（本間主査）

マネジメント業績名

八戸市・圏域内における多面的かつ戦略的公共交通利用促進マネジメント

受賞団体

八戸市、八戸市地域公共交通会議、八戸圏域公共交通計画推進会議、
(株)メディアシティ、(株)ケー・シー・エス、(有)イニシオ、パシフィックコンサルタンツ(株)、
(一社)北海道開発技術センター 計 8 団体

評価のポイント

八戸市を中心とした公共交通に関する取り組みが、各種計画に基づき継続的かつ戦略的に実施されており、バス利用者の増加という明確な成果をもたらしていることに加え、行政とバス事業者だけでなく、常に学識経験者やコンサルタントなどの多様な主体と連携しながら持続的マネジメントを展開している点を評価いただいた。

マネジメントの概要

八戸市では、公共交通の利用促進に対して早い段階より取り組んできた。特に平成19年度に八戸市地域公共交通会議を設立して以降、八戸市地域公共交通総合連携計画、八戸圏域公共交通計画の策定など、戦略的な取り組みを実施するための基礎を構築してきた。

その成果は、市内を運行するバス事業者（3事業者）を掲載した「はちのへバスマップ」の継続発行、公営と民営（2事業者）の共同による八戸駅（新幹線発着駅）と中心街間の10分間隔運行の実施（運行経費削減と利用者増を実現）、中心街バス停の青空バスターミナル化（八戸中心街ターミナルの誕生）、「八戸中心街ターミナルモビリティセンター（モビセン）」の設置、八戸公共交通アテンド「はちなび娘“はちこ”」の誕生、住民・転入者・小中学生MM、災害時公共交通行動指針策定など、利用促進に資するサービス改善からソフト施策、ひいては災害時対応まで多岐に及ぶ。

中でも、平成23年10月より実施した「路線バス上限運賃化実証実験」では、市内バス運賃を上限300円、八戸圏域内を上限500円とする大胆な運賃改定を行い、平成24年11月時点で、実験開始前に比べて平日1日あたりのバス利用者数8.5%増（うち運賃支払者数16.9%増）という明確な成果を生み出している。

ポイント	①利用者増という明確な成果	②各種計画に基づいた継続的かつ戦略的マネジメント
	③公営・民営バス事業者間の「連携」	④ハード面とソフト面の両軸確保
	⑤新たな公共交通利用促進の担い手の創出	⑥学識経験者によるアドバイス・コーディネート
H19	●八戸市地域公共交通会議設立（会長：八戸工業大学武山泰教授、アドバイザー：福島大学吉田樹准教授）	
H20	◎市内を運行する3事業者を掲載した『はちのへバスマップ』を作成（以後、 <u>現在まで更新・配布</u> ） ●新幹線停車駅（八戸の玄関口）と中心街を結ぶバスについて、2事業者の共同運行により『10分間隔運行』を実現 ⇒ <u>運行経費の削減&利用者増加を実現!</u> ●「八戸市地域公共交通総合連携計画」策定：複数事業者の連携による取り組み・市内幹線軸における高頻度サービスの確保・「使いやすい・選ばれる」バスの仕組みづくりなどを提示 ⇒ <u>以降の事業展開基盤の確立!</u>	
H21	●最終新幹線（八戸駅着）に接続する深夜乗合タクシー『シンタクン』の運行⇒ <u>現在採算ベース確保!</u>	
H22	◎中心街から方面別に路線を色分け・ナンバリング ⇒ <u>わかりやすさの向上!</u> ●中心街バス停（5つ）の青空バスターミナル化「八戸中心街ターミナル」誕生：まちなかの一方通行の構造に起因するバス停のちらばりを「まちなか滞留者（＝バス利用者）」として活かす ⇒ <u>にぎわいの創出</u> ◎八戸中心街ターミナルモビリティセンター（モビセン）誕生：中心街での路線バス総合案内&各種バス利用促進策（小中学校MM、転入者MM、特定路線MM等）の活動拠点 ⇒ <u>利用促進の“拠点”の確保</u> ●「八戸圏域公共交通計画」策定：定住自立圏内での「広域的活動の保障（＝移動手段の確保）」、「地域公共交通の品質向上」、「財政支援による運賃見直し（実証実験）」を明記 ⇒ <u>広域レベルでの事業展開基盤の確率</u>	
H23	●路線バス上限運賃化実証実験開始：市内300円・圏域内500円上限 ⇒ <u>バス利用者対前年度比4.6%増</u> ●八戸中心街ターミナルバス停のリニューアル ⇒ <u>視認性・案内性・デザイン性を確保</u>	
H24	◎八戸公共交通アテンド「はちなび娘“はちこ”」誕生：八戸駅での乗継・観光案内、路線バス車内でのアテンド ⇒ <u>八戸の最前線（八戸駅）でのおもてなし</u> ●「災害時公共交通行動指針」策定 ⇒ <u>東日本大震災時の経験を踏まえての「公共交通の強靱性」の確保</u>	

日本モビリティ・マネジメント会議実行委員会委員および幹事名簿

- 委員長 石田 東生 筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授
- 幹事長 藤井 聡 京都大学大学院工学研究科 教授
- 委員 水嶋 智 国土交通省総合政策局交通計画課 課長
- 委員 中村 英夫 国土交通省都市局都市計画課都市計画調査室 室長
- 委員 吉岡 幹夫 国土交通省道路局企画課道路経済調査室
- 委員兼幹事 塚田 幸広 国土交通省国土技術政策総合研究所 高度情報化研究センター長
- 委員兼幹事 藤岡 啓太郎 国土交通省国土技術政策総合研究所 都市施設研究室 室長
- 委員兼幹事 高宮 進 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路研究室 室長
- 幹事 野田 勝 国土交通省総合政策局交通計画課地域振興室室長
- 幹事 桑原 正明 国土交通省都市局都市計画課都市計画調査室 課長補佐
- 幹事 廣瀬 健二郎 国土交通省道路局企画課道路経済調査室 課長補佐
- 幹事 小林寛 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路研究室 主任研究官
- 委員兼幹事 原 文宏 (一社)北海道開発技術センター 理事
- 委員兼幹事 白水 靖郎 中央復建コンサルタンツ(株) 事業開発本部ゼネラルマネージャー
- 委員兼幹事 牧村 和彦 一般社団法人 計量計画研究所 研究部 次長
- 委員兼幹事 東 徹 (一社)システム科学研究所 調査研究部 部長
- 委員兼幹事 宇野 昭弘 株式会社ケー・シー・エス 社会政策部 東日本ブロックマネージャー
- 委員兼幹事 川崎 謙次 (株)千代田コンサルタント東日本事業部道路部景観デザイン課課長補佐
- 委員兼幹事 山口 大輔 株式会社 建設技術研究所 東京本社 道路・交通部 グループリーダー
- 委員 谷口 守 筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授
- 委員 高山 純一 金沢大学理工研究域環境デザイン学系 教授
- 委員 藤原 章正 広島大学大学院国際協力研究科 教授
- 委員 高野 伸栄 北海道大学大学院工学研究科北方圏環境政策工学専攻 准教授
- 委員 溝上 章志 熊本大学大学院自然科学研究科環境共生工学専攻 教授
- 委員 井上 茂 東京医科大学公衆衛生学講座 准教授
- 委員兼幹事 谷口 綾子 筑波大学大学院システム情報工学研究科 講師
- 委員兼幹事 松村 暢彦 大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻 准教授
- 委員兼幹事 山本 俊行 名古屋大学エコトピア科学研究所 教授
- 委員兼幹事 佐々木邦明 山梨大学土木環境工学科 教授
- 委員兼幹事 菊池 輝 東北工業大学工学部建設システム工学科 准教授
- 委員兼幹事 鈴木 春菜 山口大学大学院理工学研究科社会基盤工学専攻 准教授
- 委員兼幹事 神田 佑亮 京都大学大学院工学研究科 准教授

以上

(○：一般社団法人JCOMMの理事・監事)

(平成25年5月13日現在)

JCOMM マネジメント賞 歴代受賞者

年度	業績名	実施主体
24	歩くまち・京都」実現に向けたスローライフ京都大作戦（プロジェクト）	京都市都市計画局歩くまち京都推進室 一般社団法人システム科学研究所 藤井 聡（京都大学大学院）
	当別ふれあいバスの確保・維持に関する多様な取り組み	当別町、当別町地域公共交通活性化協議会、 有限会社下段モータース、一般社団法人北海道開発技術センター
23	該当なし	該当なし
22	神戸における EST モデル事業	神戸市 TDM 研究会、神戸市 EST 協議会、 KOBEST2007 実行委員会、かしこいクルマの 使い方を考えるプロジェクト神戸
	松江 3M（Matsue - Mobility - Management） －「ひと」「まち」「地球」の縁結び－	松江市公共交通利用促進市民会議、国土交通 省（松江国道事務所調査設計課・島根運輸支 局輸送課）、島根県（交通対策課）、松江市（地 域・交通政策課、都市計画課・交通局）、 一畑電車(株)、一畑バス(株)
21	該当なし	該当なし
20	福山都市圏におけるベスト運動を核としたモ ビリティ・マネジメンター交通円滑化総合計画 を活かした 5 年間に渡る包括的な取り組み－	福山都市圏交通円滑化総合計画推進委員会事 務局（国土交通省中国地方整備局福山河川国 道事務所調査設計第二課・広島県福山地域事 務所建設局事業調整班・福山市建設局都市部 都市交通課・福山コンサルタント西日本事業 部）
19	かしこいクルマの使い方を考えるプロジェク ト京都	京都府
	大分市を中心とする地域における公共交通転 換可能性調査事業	公共交通機関利用促進対策事業調査実施委員 会（大分バス（株）・大分交通（株）・（社） 大分県バス協会・大分県企画振興部総合交通 対策課・大分市都市計画課都市交通対策課・ 藤井聡（東京工業大学大学院）・（株）ケー・ シー・エス九州支社）